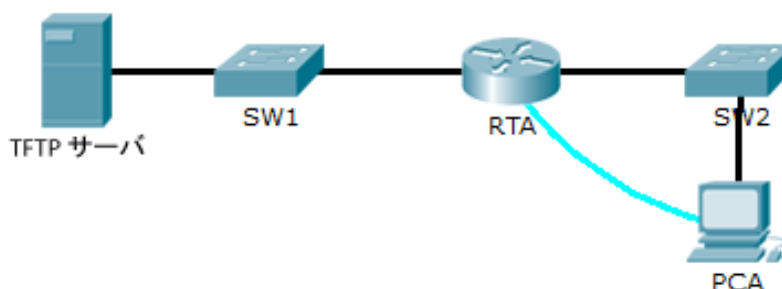


Packet Tracer - コンフィギュレーション ファイルのバックアップ

トポロジ



目的

- パート 1: TFTP サーバへの接続の確立
- パート 2: TFTP サーバからの設定の転送
- パート 3: TFTP サーバへの設定および IOS のバックアップ

背景/シナリオ

この課題では、設定をバックアップから復元した後、新しいバックアップを実行する方法について説明します。機器が故障したため、新しいルータが設置されました。幸いなことに、コンフィギュレーション ファイルのバックアップがトリビアル ファイル転送プロトコル (TFTP) サーバに保存してありました。TFTP サーバからファイルを復元して、できるだけ短いダウン時間でルータをオンラインに戻す必要があります。

パート 1. TFTP サーバへの接続の確立

注: これは新しいルータのため、初期設定はルータへのコンソール接続を使用して実行されます。

- a. [PCA]、[Desktop] タブの順にクリックし、[Terminal] をクリックして RTA コマンドラインにアクセスします。
- b. **Gigabit Ethernet 0/0** インターフェイスを設定し、アクティブ化します。IP アドレスが TFTP サーバのデフォルトゲートウェイに一致する必要があります。
- c. TFTP サーバへの接続をテストします。必要に応じてトラブルシューティングを行います。

パート 2. TFTP サーバから設定を転送します。

- a. 特権 EXEC モードから、次のコマンドを発行します。

```
Router# copy tftp running-config
Address or name of remote host []? 172.16.1.2
Source filename []? RTA-config
Destination filename [running-config]? <cr>
```

ルータは次を返すはずです。

```
Accessing tftp://172.16.1.2/RTA-config...
Loading RTA-config from 172.16.1.2: !
[OK - 785 bytes]
785 bytes copied in 0 secs
RTA#
%SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by console
RTA#
```

- b. 現在の設定を表示するコマンドを発行します。何が変更されていますか。

-
- c. インターフェイスのステータスを表示するには、適切な **show** コマンドを発行します。すべてのインターフェイスがアクティブですか。
-

- d. インターフェイスの問題に関連する問題を修正し、接続をテストします。

パート 3. TFTP サーバへの設定および IOS のバックアップ

- a. RTA のホスト名を **RTA-1** に変更します。
- b. 設定を NVRAM に保存します。
- c. **copy** コマンドを使用して、設定を **TFTP サーバ** にコピーします。

```
RTA-1# copy running-config tftp:
Address or name of remote host []? 172.16.1.2
Destination filename [RTA-1-config]? <cr>
```

- d. フラッシュ メモリ内のファイルを表示するコマンドを発行します。
- e. 次のコマンドを使用して、フラッシュ メモリ内の IOS を **TFTP サーバ** にコピーします。

```
RTA-1# copy flash tftp:
Source filename []? c1900-universalk9-mz.SPA.151-4.M4.bin
Address or name of remote host []? 172.16.1.2
Destination filename [c1900-universalk9-mz.SPA.151-4.M4.bin]? <cr>
```